江戸川区 木陰マップ

小岩地域

左近通り（清新町２丁目）

江戸川区環境部水とみどりの課

みどりの役割と効果

～私たちの生活をよりよくする働きがあります～

●まちの環境をよくする

1. 蒸散作用によるヒートアイランド現象や暑熱環境を緩和します。
2. 二酸化炭素の吸収源となり、地球温暖化を防止します。

都市環境改善の機能

●様々な生物の生息場所となる

1. みどりは様々な生物の生息場所になり、生物多様性の確保に貢献します。
2. 公園や水辺、学校や住宅のみどりを緑道や街路樹がつなぎ、生物の移動経路になります。

生物多様性保全の機能

●災害からまちを守る

1. 公園や農地はオープンスペースとして、災害時の避難拠点となります。
2. 街路樹は、火災の延焼を防止するほか、建物の倒壊や落下物で、道路が塞がれるのを防ぎます。
3. 植栽帯の雨水貯留や浸透機能により、局所的な豪雨による災害を軽減します。

防災の機能

●まちの美しい景観を作る

1. 花や木々により、まちの美しい景色がつくられます。
2. 歴史のある大木や並木は、都市の景観に厚みや風格をもたらし、個性と魅力がある地域づくりにつながります。

都市景観や歴史文化形成の機能

●遊びや休憩の場所となる

1. 公園や水辺は、散策・休息の場となり、人々に安らぎを与えます。
2. 余暇活動や自然学習のための場としても役立ちます。

レクリエーションの機能

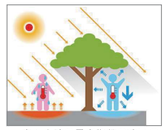
「熱中症」とは

高温多湿などの環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温を調節する機能が低下したりすることが原因で起こります。

けいれんや意識障害、さらには命の危険を伴うこともあります。

熱中症予防カード（環境省）

木は天然の日傘になれる？

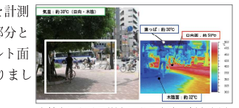


日向と木陰の暑さ指数の違いのイメージ（環境省 2023）

気温は、太陽からの日射のエネルギーが地面に当たることによって上昇します。

樹木が作る木陰が日射を遮断することで、頭上や地面の温度の上昇を抑えることができます。

地上における表面温度を計測した結果、街路樹の緑陰部分と日当たりのよいアスファルト面は、約25℃の温度差がありました。



交差点における樹木による木陰の創出事例（江東区木場５丁目付近（環境省 2023））

●みどりの暑さ対策事例

〝埼玉県熊谷市藤のパラソル事業〟

暑くても信号待ちの間滞在しなければいけない交差点の歩道に、暑さ対策として、藤棚が設置されました。

〝東京都千代田区 Marunouchi Street Park〟

エリアのにぎわい創出を目的とした道路空間を活用した取組で、まちなかの暑さ対策を快適なまちづくりの要素の一つと位置づけています。

ここでは、道路上に天然芝を敷設することで、地表面温度が大幅に低下することが確認されています。

江戸川区のみどりのあゆみ

昭和 30 年代頃の江戸川区は、急激な都市化により多くのみどりが失われ、水路も生活排水で汚れるなど、環境悪化の一途をたどっていました。

この状況を受けて「ゆたかな心　地にみどり」を合言葉に、昭和 45(1970) 年から区民と行政が一体となった美化運動・緑化運動が始まりました。

現在ではアダプト制度の登録数は公園、緑（街路樹）、水辺、まちかどの４部門を合わせて 10,679 人となりました（令和６年４月時点）。

昭和 48 年　美化運動

現在のボランティア活動

昭和 48(1973) 年には全国初の親水公園である古川親水公園が完成しました。

現在では豊富な水辺環境を活かし、5 つの親水公園と 18 路線の親水緑道が整備されています。

古川親水公園

一之江境川親水公園

街路樹は、その多くが昭和 50 年代から 60 年代頃の下水道整備の推進に合わせて植えられました。

現在の街路樹（高木）本数は約３万３千本となり、23 区内で最も多くなっています（令和６年４月時点、親水緑道を含まない）。

下水道整備　前

下水道整備　後

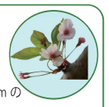
夏に見頃となるサルスベリの街路樹

江戸川区に多い街路樹

クスノキ

科　　名：クスノキ科
自然樹高：20m（高さ 55m、直径８mに達する巨木もある）
特　　徴：葉を切ると樟脳のにおいがする。

ソメイヨシノ



科　　名：バラ科
自然樹高：10 ～ 15m
特　　徴：観賞用として広く植栽されている。
３～４月、葉がでる前に、直径４～4.5cm の淡紅色の花が３～４個散形状に咲く。

イチョウ

科　　名：イチョウ科
自然樹高：10 ～ 25m
特　　徴：秋には美しく黄葉する。
種子は直径約 2.5ｃmの球形で９月頃成熟する。
白くてかたい内種皮がいわゆるギンナンである。

ケヤキ

科　　名：ニレ科
自然樹高：20 ～ 25m（高さ 50m、直径５mに達する巨木もある）
特　　徴：日本の代表的な広葉樹のひとつ。
寿命の長い樹木なので、天然記念物に指定されているものも多い。
秋には、美しく鮮やかな黄色から橙色や赤色まで、様々な色に変化する。

ハナミズキ

科　　名：ミズキ科
自然樹高：５～12m
特　　徴：４～５月、黄緑色の小さな花が集まった球形の頭状花序をつくる。
白色またはピンク色の花弁状の総苞片は広倒卵形で、先端はへこむ。
秋に美しく紅葉する。

区民の皆さまが夏場に少しでも快適にお出かけができるよう「えどがわ“ひと涼み”処」につながる、街路樹や緑道などの木陰をあらわした、木陰マップを作成しました。

本マップ内にはみどりの役割や歴史、街路樹の樹種の紹介も記載しています。

「えどがわ“ひと涼み”処」で涼みながら、ぜひ本マップをお読みください。

身近なみどりに目を向けることで、新たな景色が見えてくるのではないでしょうか。

木陰を作る緑との距離が縮まり「もっと知りたい」「お世話をしたい」という気持ちが芽生えたら、ぜひボランティア活動にご協力ください。

一緒に「ゆたかな心 地にみどり」を次の世代につないでいきましょう。

参考図書：

1「猛暑に対する街なかでの対応方策について」〔環境省 2013 年〕
https://www.env.go.jp/press/16924.html
2「まちなかの暑さ対策ガイドライン」〔環境省 2023 年〕
https://www.wbgt.env.go.jp/doc_city_guideline.php
3「～ヒートアイランド現象の緩和をめざして～緑による建築・街区空間の熱環境改善効果について」〔国土交通省 2005 年〕
https://www.mlit.go.jp/kisha/kisha05/04/040812/01.pdf
4「夏の暑さ対策の手引き」〔東京都 2016 年〕
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/heat_island/regulation
5「東京におけるヒートアイランドの実態と暑熱対策について」〔東京都環境科学研究所 2014 年〕
6　日本の樹木　山と溪谷社〔林 弥栄 2011 年〕
7　道路植栽の設計・施工・維持管理　財団法人経済調査会（中島 宏 2012 年）

発　行
江戸川区環境部水とみどりの課

〒132-8501　東京都江戸川区中央一丁目４番１号

公園利活用係　電話：03-5662-8393
水とみどりの課公式インスタグラム：@edogawamidori
HP：https://www.city.edogawa.tokyo.jp

「えどがわ“ひと涼み”処」

冷房設備のある区の施設などを、夏季期間中は、「えどがわ“ひと涼み”処（どころ）」と名付けており、気軽に暑さを一時しのげる場所として利用できます（各施設の開館時間内に限ります）。

熱中症予防には、外を歩いているときに少し立ち寄って、身体の熱をとることが効果的です。

区内全域で区施設 81 か所・その他５か所が展開されており、これらの施設は、熱中症特別警戒アラートの発表に応じて、クーリングシェルターにも指定されています。

施設の入口には、目印としてポスターが掲示されています。また、自販機や給水機が備わっている場合があります（一部の施設を除く）。

「えどがわ“ひと涼み”処」リスト

小岩地域

No.	施設名	所在地
A	なごみの家　北小岩	北小岩６丁目 17 番９号
B	北小岩コミュニティ会館	北小岩６丁目 35 番 17 号
C	共育プラザ小岩	北小岩２丁目 14 番 17 号
D	西小岩コミュニティ会館	西小岩４丁目３番 22 号
E	小岩アーバンプラザ	北小岩１丁目 17 番１号
F	小岩健康サポートセンター	東小岩３丁目 23 番３号
G	小岩区民館	東小岩６丁目９番 14 号
H	なごみの家　小岩	東小岩５丁目 19 番８号
I	小岩図書館	東小岩３丁目６番９号
J	南小岩コミュニティ会館	南小岩７丁目 17 番 10 号
K	小岩くすのきカルチャーセンター	東小岩２丁目６番 22 号
L	共育プラザ南小岩	南小岩４丁目５番８号

小岩地域のおすすめ路線

名　　称：上小岩親水緑道
最寄り駅：JR「小岩」駅より徒歩 15 分

小川のせせらぎを演出した親水緑道です。

また、このあたりは、弥生時代後期から古墳時代にかけての史跡（上小岩遺跡群）が見つかっており、上小岩遺跡のモニュメントや土器が描かれたマンホールが設置されています。

名　　称：小岩フラワーロード
最寄り駅：JR「小岩」駅南口を出てすぐ
樹　　種：花壇　※高木はなし

駅前通り美観商店街（通称：フラワーロード）の歩道には花壇が設置されており、商店街を明るく彩っています。

毎年５月に「花壇コンクール」が開催されており、自治会や町会、近隣の住民、保育園、小中学校等、地元のボランティアが趣向を凝らして制作した花壇を楽しむことができます。

高木の木陰はありませんが、アーケードの下を歩くことができます。

名　　称：下小岩親水緑道
最寄り駅：JR「小岩」駅より徒歩 20 分

区内最初の親水緑道です。

このあたりは明治の初めごろまで下小岩村と呼ばれており、農業が盛んに行われ、小川には魚が泳ぎ、鳥の遊ぶのどかな田園風景が広がっていました。

現在では、親水緑道として、かつての緑とせせらぎが再現され、子どもの姿をモチーフとした彫刻が設置されています。

マテバシイ

科　　名：ブナ科
自然樹高：約 15m
特　　徴：６月頃穂状のクリーム色の花を咲かせる。
秋になると、長さ２～３ｃmのどんぐりの実がなる。

ヤマモモ

科　　名：ヤマモモ科
自然樹高：約 25m
特　　徴：４月頃開花する。
果実は直径１～２ｃmの球形で突起が多く、初夏に赤く熟す。

タブノキ

科　　名：クスノキ科
自然樹高：８～ 15m
特　　徴：５～６月、枝先の円錐花序に淡黄緑色の小さな花をつける。
果実は直径約１ｃmの球形で花被が残り、７～８月に黒紫色に熟す。

ヤマボウシ

科　　名：ミズキ科
自然樹高：５～ 10m
特　　徴：６～７月、小さな花が集まった球形の頭状花序をつくる。
白い花弁のように見えるのは４個の総苞片。
果実は１０月頃に赤く熟す。

ユリノキ

科　　名：モクレン科
自然樹高：10 ～ 25m
特　　徴：５～６月に直径５～６ｃmで帯黄緑色のチューリップに似た花が咲く。